

平成 20 年度健保組合予算早期集計結果の概要

平成 20 年 4 月 21 日
健康保険組合連合会

問い合わせ先：健保連 企画部 調査・分析グループ
： 03 - 3403 - 0926

本集計結果は、20年度制度改正による組合財政への影響等を早期に把握するため、現段階において20年度予算データの報告があった組合(1,285組合)の数値を基に全組合の20年度予算状況を推計し、前年度との対比を行ったものである。

全組合数 : 1,502 組合(20年4月1日現在)

報告組合数 : 1,285 組合(回答率 86%)

20年度(推計)の被保険者数、被扶養者数および経常収支状況については、予算データの報告があった組合の対前年度伸び率および被保険者一人当たり額を基に、全組合(1,502組合)相当に引き伸ばして算出した数値である。

報告組合の状況は単一組合が84%、総合組合が92%。未報告組合の状況を見ると、比較的小規模組合が多いが、業態、財政状態別の分布に特段の偏りはみられない。

(20年度予算の財政・適用状況等 19年度予算との対比)

1. 平成20年度の経常収支状況について、予算データの報告があった組合(1,285組合)の数値を全組合相当に引き伸ばして推計すると、過去最大の6,322億円の赤字となる見込みとなっている。赤字額は対前年度比で3,924億円増加する。
2. 赤字組合数は対前年度比で278組合増加、1,334組合となり、全組合に対する赤字組合の割合は約9割(昨年度7割)に拡大する見込みとなっている。
3. 組合数は18組合減少。被保険者数は増加し、被扶養者は減少する見込みとなっている。
4. 平均標準報酬月額、一人当たり平均標準賞与額については、19年度予算値とほぼ同水準にある。

- 5 . 保険料率（一般保険料率 + 調整保険料率）の平均は 73.90%で対前年度比 0.76%増加する見込み。また、予算データの報告があった組合（1,285 組合）のうち、一般保険料率が政管料率（82%）を超える組合は 214 組合、17%を占めている。
- 6 . 20 年度制度改正により、一般保険料率の中に設定された後期高齢者支援金、前期高齢者納付金等に要する「特定保険料率」の平均は 34.26%となっている。
- 7 . 20 年度制度改正に伴う、新たな高齢者医療制度に係る拠出金等の状況は、後期高齢者支援金が 1 兆 1,256 億円、前期高齢者納付金が 1 兆 0,501 億円で、20 年 3 月分の旧制度負担分等を含めた拠出金等負担総額は、2 兆 8,423 億円となり、対前年度比 5,094 億円、21.8%と大幅に増加する見込みとなっている。また、保険料収入に対する拠出金等の割合は 46.5%を占め、前年度（39.4%）から大きく増加する見込みとなっている。
- 8 . 20 年度の健保組合財政については、特に制度改正の影響により、拠出金等の負担が前年度に比べて増大し、赤字組合も全組合の約 9 割に達する見込みであるなど、危機的状況である。

（健保組合の適用・財政の推移について 平成13年度以降）

1. 平成20年度の当初の組合数は1,502組合で、ピーク時の1,827組合（平成4年度）に比べ、325組合減少している。解散組合は13年度以降、175組合を数える。被保険者数は17年度以降、増加傾向、被扶養者数は減少傾向にある。
2. 平均標準報酬月額は、13年度以降ほぼ同水準にある。保険料率は、総報酬制導入に伴い、15年度に10%₀低下し、その後は漸減傾向が続いていたが、20年度は微増する見込みとなっている。
3. 健保組合の財政状況の推移についてみると、14年度決算では、3,999億円の赤字を計上。15年度以降は、総報酬制導入や7割給付の実施等により小康状態にあったが、20年度については新たな高齢者医療制度の創設に伴う拠出金等負担の増大により、過去最大の6,322億円の経常赤字が見込まれている。
4. 拠出金等負担額の推移については、14年10月の法改正（老健対象者年齢の段階的引き上げ、公費負担増）により、15年度以降は、老人保健拠出金が減少する一方で退職者給付拠出金が増加し、拠出金負担総額としては減少を続けていたが、18年度に老人保健拠出金の減を退職者給付拠出金の増が上回り、負担総額は増加に転じていた。20年度については、制度改正の影響により、健保組合の拠出金等負担はさらに増大し、19年度予算比で5,000億円を超える負担増が見込まれている。

健保組合の財政状況は、本来個別の組合ベースで収支状況を見るべきであり、連結して示すものではないが、平均的な姿を明らかにするため、便宜的に集計・推計を行ったものである。

表1 平成20年度予算早期集計 健保組合経常収支状況等

(金額単位:億円)

	20年度予算早期集計 (回答組合)	20年度予算早期集計 (推計)	19年度予算	増減数 -	対前年度伸び率(%)
組合数	1,285	1,502	1,520	18組合減	-
被保険者数(人)	13,665,898	15,884,342	15,595,181	289,161人増	1.85
被扶養者数(人)	12,549,315	14,618,583	14,704,376	85,793人減	-0.58
平均標準報酬月額(円)	369,487	369,487	369,340	147円増	0.04
平均標準賞与額(円)	1,125,171	1,125,171	1,126,039	868円減	-0.08
平均保険料率(%)	73.90	73.90	73.14	0.76%増	1.04
特定保険料率(%)	34.26	34.26	-	-	-
前期高齢者数(人)	571,208	-	-	-	-
前期高齢者加入率(%)	2.26	-	-	-	-
前期高齢者1人当たり医療給付費(円)	336,190	-	-	-	-
経常収入	52,421	61,188	59,139	2,049	3.46
健康保険料	52,382	61,142	59,094	2,048	3.47
国庫負担金	39	45	44	1	2.27
その他	1	1	1	-	-
退職積立金繰入	64	75	62	13	20.97
病院診療所収入	359	581	581	-	-
訪問看護事業収入	1	2	2	-	-
介護老人保健施設収入	18	30	30	-	-
雑収入等	784	915	715	200	27.97
合計	53,647	62,790	60,528	2,262	3.74
経常支出	59,052	69,112	62,926	6,186	9.83
事務費	1,244	1,452	1,450	2	0.14
保険給付費	29,450	34,375	33,511	864	2.58
法定給付費	28,551	33,325	32,547	778	2.39
付加給付費	900	1,050	964	86	8.92
拠出金・納付金計	24,351	28,423	23,329	5,094	21.84
老人保健拠出金 後期高齢者支援金	11,030	12,874	11,835	1,039	8.78
老人保健拠出金	1,387	1,618	11,835	-10,217	-86.33
後期高齢者支援金	9,643	11,256	-	11,256	-
退職者給付拠出金 前期高齢者納付金	13,311	15,537	11,492	4,045	35.20
退職者給付拠出金	4,314	5,036	11,492	-6,456	-56.18
前期高齢者納付金	8,997	10,501	-	10,501	-
病床転換支援金	7	8	-	8	-
日雇拠出金	3	3	2	1	50.00
保健事業費	3,355	3,916	3,675	241	6.56
病院診療所費	519	782	782	-	-
訪問看護事業費	1	2	2	-	-
介護老人保健施設費	17	29	29	-	-
その他	115	134	148	-14	-9.46
合計	59,052	69,112	62,926	6,186	9.83
経常収支差引額	-5,405	-6,322	-2,398	-3,924	-

- (注1) 組合数については、20年度予算早期集計(報告組合)は予算データ報告組合数、20年度予算集計(推計)は平成20年4月1日現在数、19年度予算欄は19年4月1日現在数である。
- (注2) 単位未満の数は四捨五入しているため、各項目の計と合計は一致しないことがある。
- (注3) 20年度予算集計(推計)欄の適用状況のうち、被保険者数と被扶養者数は、予算データ報告組合の数値を平成20年4月1日現在の1,502組合に引き伸ばした数値である。平均標準報酬月額、平均標準賞与額、平均保険料率(調整保険料率を含む)、特定保険料率は予算データ報告組合(1,285組合)の平均である。
- (注4) 経常収入の「雑収入等」は「国庫補助金中の特定健康診査・保健指導補助金」、特定健康診査事業収入、「不用財産売払代を除く雑収入」の合計である。
- (注5) 経常支出の「その他」は「組合債費」、「調整保険料還付金を除く還付金」、「連合会費」、「出資金」、「積立金」、「その他」の合計である。
- (注6) 経常収支科目のうち、病院診療所・訪問看護及び介護老人施設等一部の組合のみ保有している科目については、19年度予算数値としている。

経常収支赤字組合数	1,141	1,334	1,056	278組合増	-
全組合に対する割合(%)	88.79	(88.79)	69.47	-	-
経常収支赤字組合の赤字総額(億円)	-5,529	-	-3,065	-	-
1組合あたり赤字額(万円)	-48,457	-	-29,027	-	-
経常収支黒字組合数	144	168	464	296組合減	-
全組合に対する割合(%)	11.21	(11.21)	30.53	-	-
経常収支黒字組合の黒字総額(億円)	124	-	667	-	-
1組合あたり黒字額(万円)	8,606	-	14,385	-	-

- (注7) 20年度早期集計(推計)における経常赤字組合数は、回答組合のデータを全組合ベースに引き伸ばした数値である。

表2 平成20年度予算早期集計 被保険者1人当たり額
 <予算データ報告組合(1,285組合)ベース>

(金額単位:円)

		20年度予算早期集計	19年度予算	増減数 -	対前年度伸び率(%)
経 常 収 入	健康保険収入	383,592	378,852	4,740	1.25
	保険料	383,306	378,565	4,741	1.25
	国庫負担金	285	287	-2	-0.70
	その他	1	1	-	-
	退職積立金繰入	471	400	71	17.75
	病院診療所収入	2,628	2,741	-113	-4.12
	訪問看護事業収入	9	8	1	12.50
	介護老人保健施設収入	128	133	-5	-3.76
	雑収入等	5,735	4,501	1,234	27.42
	合計	392,564	386,635	5,929	1.53
経 常 支 出	事務費	9,101	9,365	-264	-2.82
	保険給付費	215,501	214,684	817	0.38
	法定給付費	208,918	208,526	392	0.19
	付加給付費	6,583	6,158	425	6.90
	拠出金・納付金計	178,186	151,093	27,093	17.93
	老人保健拠出金・後期高齢者支援金	80,711	75,829	4,882	6.44
	老人保健拠出金	10,146	75,829	-65,683	-86.62
	後期高齢者支援金	70,565	-	70,565	-
	退職者給付拠出金・前期高齢者納付金	97,403	75,248	22,155	29.44
	退職者給付拠出金	31,570	75,248	-43,678	-58.05
	前期高齢者納付金	65,833	-	65,833	-
	病床転換支援金	48	-	48	-
	日雇拠出金	25	16	9	56.25
	保健事業費	24,551	23,267	1,284	5.52
	病院診療所費	3,800	3,986	-186	-4.67
	訪問看護事業費	10	10	-	-
介護老人保健施設費	127	130	-3	-2.31	
その他	839	882	-43	-4.88	
合計	432,115	403,419	28,696	7.11	
経常収支差引額		-39,551	-16,784	-22,767	

表3 健保組合適用・財政状況等の推移

	組合数	前年度末との増減	解散組合数	被保険者数(万人)	被扶養者数(万人)	平均標準報酬月額(万円)	保険料率(%)	経常収支差引額(億円)	赤字組合		老人保健拠出金(後期高齢者支援金)			退職者給付拠出金(前期高齢者納付金)		
									組合数	割合(%)	総額(億円)	1人あたり額(万円)	保険料割合(%)	総額(億円)	1人あたり額(万円)	保険料割合(%)
平成13年度決算	1,722	-34	26	1,518	1,621	37.2	85.6	-3,013	1,339	77.8	18,138	11.9	32.2	5,251	3.5	9.3
" 14年度決算	1,674	-48	37	1,497	1,577	37.0	85.6	-3,999	1,350	80.7	18,379	12.3	33.2	5,887	3.9	10.6
" 15年度決算	1,622	-52	36	1,472	1,529	37.0	75.5	1,397	703	43.3	16,846	11.4	28.7	6,727	4.6	11.5
" 16年度決算	1,584	-38	27	1,472	1,499	37.1	74.8	3,062	505	31.9	14,428	9.8	24.8	7,014	4.8	12.1
" 17年度決算	1,561	-23	18	1,495	1,485	37.0	74.0	2,956	470	30.1	12,355	8.3	21.3	7,995	5.3	13.8
" 18年度決算(見込)	1,541	-20	9	1,535	1,478	36.9	73.2	2,368	500	32.5	11,567	7.5	19.7	9,397	6.1	16.0
" 19年度予算	1,520	-21	12	1,560	1,470	36.9	73.1	-2,398	1,056	69.5	11,835	7.6	20.0	11,492	7.4	19.4
" 20年度予算(推計)	1,502	-18	10	1,588	1,462	37.0	73.9	-6,322	1,334	88.8	12,874	8.1	21.1	15,537	9.8	25.4

(注1)19年度予算と18年度決算見込における組合数の増減は、19年4月と19年3月との比較である。

(注2)20年度予算(推計)の後期高齢者支援金の総額には、20年3月分の老人保健拠出金の負担分を含む。
また、前期高齢者納付金の総額には、20年3月分および20年4月以降における経過措置に伴う退職者給付拠出金の負担分を含む。

表4 一般保険料率別組合数

	単一組合			総合組合			全組合		
	20年度	19年度	増減	20年度	19年度	増減	20年度	19年度	増減
60‰未満	154	209	- 55	1	5	- 4	155	214	- 59
60‰～65‰未満	134	157	- 23	9	7	2	143	164	- 21
65‰～70‰未満	170	211	- 41	11	20	- 9	181	231	- 50
70‰～75‰未満	215	249	- 34	38	42	- 4	253	291	- 38
75‰～80‰未満	165	194	- 29	56	64	- 8	221	258	- 37
80‰～82‰未満	70	86	- 16	40	41	- 1	110	127	- 17
82‰	7	7	-	1	2	- 1	8	9	- 1
82‰超～85‰未満	34	50	- 16	37	41	- 4	71	91	- 20
85‰～90‰未満	67	62	5	36	38	- 2	103	100	3
90‰～95‰未満	13	13	-	15	10	5	28	23	5
95‰	4	5	- 1	7	7	-	11	12	- 1
95‰超～100‰未満	1	-	-	0	-	-	1	-	-
100‰	0	-	-	0	-	-	0	-	-
計	1,034	1,243	- 209	251	277	- 26	1,285	1,520	- 235
平均	70.92	70.34	0.58	80.14	79.26	0.88	72.72	71.97	0.75

(注1) .20年度欄については、予算データ報告があった組合 (1285組合)ベースの数値である。

(注2) 保険料率90‰以上の料率を設定している組合は、40組合 (単一18組合、総合22組合) で予算データ報告組合 (1285組合) の3.1%を占める。
 { 内、95‰以上の組合は、12組合 (単一5組合、総合7組合) で予算データ報告組合 (1285組合) の組合の0.9% }

表5 保険料収入に対する拠出金・納付金の割合別組合数

老人保健拠出金 (後期高齢者支援金)

	20年度	割合(%)	19年度	割合(%)
10%未満	2	0.2	201	13.2
10%～20%	457	35.6	612	40.3
20%～30%	767	59.7	613	40.3
30%～40%	54	4.2	78	5.1
40%～50%	3	0.2	11	0.7
50%以上	2	0.2	5	0.3
計	1,285	100.0	1,520	100.0
平均	21.1	-	20.0	-

退職者給付拠出金 (前期高齢者納付金)

	20年度	割合(%)	19年度	割合(%)
15%未満	42	3.3	48	3.2
15%～20%	160	12.5	685	45.1
20%～25%	363	28.3	627	41.3
25%～30%	416	32.4	125	8.2
30%～40%	282	22.0	33	2.2
40%以上	22	1.7	2	0.1
計	1,285	100.0	1,520	100.0
平均	25.4	-	19.4	-

拠出金等合計

	20年度	割合(%)	19年度	割合(%)
20%未満	1	0.1	13	0.9
20%～30%	15	1.2	175	11.5
30%～40%	190	14.8	619	40.7
40%～50%	623	48.5	590	38.8
50%～60%	370	28.8	101	6.6
60%以上	86	6.7	22	1.5
計	1,285	100.0	1,520	100.0
平均	46.5	-	39.4	-

(注1) 20年度欄については、健保組合(1,285)組合ベース数値。

(注2) 20年度欄の後期高齢者支援金については、20年3月分の老人保健拠出金の負担分を含めて算出した値。

また、前期高齢者納付金については、20年3月分および20年4月以降における経過措置に伴う退職者給付拠出金の負担分を含めて算出した値。

表 6 平成20年度予算早期集計 介護保険収支状況等

1.適用状況

		20年度予算早期集計 (回答組合)	19年度予算	増減数 -	対前年度伸び率(%)
組合数		1,285	1,520	-	-
介護保険第2号被保険者数(人)		9,030,489	10,284,060	-	-
介護保険第2号被保険者たる被保険者数(人)		6,249,687	7,091,424	-	-
特定被保険者数(人)		84,355	100,448	-	-
平均標準報酬月額(円)		438,442	438,012	430円増	0.10
平均標準賞与額(円)		1,408,507	1,399,059	9,448円増	0.68
介護保険料率(‰)	事業主	5.40	5.56	0.16‰減	-2.88
	被保険者	5.27	5.43	0.16‰減	-2.95
	計	10.67	10.99	0.32‰減	-2.91
合算(介護+一般+調整)料率(‰)		84.57	84.13	0.44‰増	0.52

〔注1〕20年度予算早期集計(回答組合)欄については、予算データ報告のあった組合(1,285組合)の数値である。

〔注2〕平均標準報酬月額は、2号被保険者たる被保険者と特定被保険者の平均である。

〔注3〕平均標準賞与額は、任意継続被保険者と特例退職被保険者を除いた、2号被保険者たる被保険者と特定被保険者の平均である。

〔注4〕介護保険料率、合算保険料率は単純平均である。

2.収支状況(一人当たり額)

(単位:円、%)

		20年度予算早期集計	19年度予算	増減数 -	対前年度伸び率(%)
収入	介護保険収入	67,517	69,989	-2,472	-3.53
	繰越金	2,502	1,701	801	47.09
	繰入金	906	952	-46	-4.83
	一般勘定受入	71	131	-60	-45.80
	収入合計	70,997	72,773	-1,776	-2.44
支出	介護納付金	65,702	69,084	-3,382	-4.90
	介護保険料還付金	79	105	-26	-24.76
	積立金等	5,148	3,468	1,680	48.44
	一般勘定繰入	68	116	-48	-41.38
	支出合計	70,997	72,773	-1,776	-2.44

〔注5〕一人当たり額とは、2号被保険者たる被保険者と特定被保険者一人当たり額である。

表7 介護保険料率別組合数

	単一組合		総合組合		全組合			
	20年度	19年度	20年度	19年度	20年度	構成割合(%)	19年度	構成割合(%)
6‰未満	17	7	-	-	17	1.3	7	0.5
6‰～7‰	21	30	-	-	21	1.6	30	2.0
7‰～8‰	71	54	-	-	71	5.5	54	3.6
8‰～9‰	125	132	5	4	130	10.1	136	9.0
9‰～10‰	186	210	8	7	194	15.1	217	14.3
10‰～11‰	230	267	36	29	266	20.7	296	19.5
11‰～12‰	125	182	63	61	188	14.6	243	16.0
12‰～13‰	119	163	76	79	195	15.2	242	15.9
13‰～14‰	56	70	27	42	83	6.5	112	7.4
14‰～15‰	39	57	18	35	57	4.4	92	6.1
15‰以上	45	71	18	20	63	4.9	91	6.0
計	1,034	1,243	251	277	1,285	100.0	1,520	100.0
平均	10.35	10.69	12.01	12.34	10.67	-	10.99	-

(注) 20年度欄については、予算データ報告があった組合 (1,285組合) ベースの数値である。